

オスプレイ配備撤回 日米地位協定見直しを



水上洋志 (日本共産党) の見直しに際して、市民や議会の意見反映を求める。

①(ア)横田基地へのオスプレイ配備について、東京都と周辺市町連絡会は情報提供などを要請しているが、要請が踏みじられる事態である。配備撤回を要請すべきと考えるが市長の見解を問う。(イ)全国知事会は日米地位協定の見直しを含む「提言」を全会一致で採択した。市長の見解を問う。
市長 (ア)国に、説明責任を果たすことや、安全対策の徹底と環境への配慮等を米国の働きかけるよう26市の総意として要請した。(イ)空域に関する課題がある。
②防災対策の強化について問う。(ア)今後の防災計画

の意見に際して、市民や議会の意見反映を求める。
(イ)避難所運営などに関して学校と地域の連携強化が必要である。避難所運営連絡協議会の開催や地域と連携した防災訓練の実施などを求める。(ウ)マンホールトイレの整備の計画を前倒しで実施すべき。
総務部長 (ア)防災会議に市民が参加しており、パブリックコメントでも意見を聞いていく。(イ)教育委員会と連携して検討を進めていく。(ウ)平成32年度以降は1年に2校の整備ができないか関係課と協議している。
■その他、浴恩館公園の水路復活について質問しました。

塀とエアコンの対策を 介護職員の処遇改善を



たゆ久貴 (日本共産党) まう」などの声を聞いている。こちらも国や都が新たな補助を行う中、市は学校の教室だけでなく体育館にもエアコンを設置するべき。

①倒壊のおそれのある危険なブロック塀について、市民からは「怖いから塀から離れて歩いて」という声を聞いている。国や都が新たな補助を行う中、市として公共施設のブロック塀の早急な改修と、民間のブロック塀の改修への補助をするべき。
企画財政部長 市が危険とした学校・保育園・公園のブロック塀の整備は平成30年度末までに完了予定。
総務部長 民間ブロック塀への補助は検討したい。
②近年は猛暑が当たり前のようになり「授業に集中できない」「体調を崩してし

まう」などの声を聞いている。こちらも国や都が新たな補助を行う中、市は学校の教室だけでなく体育館にもエアコンを設置するべき。
学校教育部長 着実に検討を進めていきたい。
③介護現場は賃金が安い等の理由で人手不足になっており、制度の基盤を脅かす重大事態になっている。市は介護を守るために賃金への補助や、宿舍借上げなどの家賃補助を行うべき。
福祉保健部長 処遇改善や人材確保策については異なる取組が必要。できることがないか検討したい。
■その他、一学校職員の長時間労働の是正のための取組」を求めました。

武蔵小金井駅北口周辺の 再開発整備を



篠原ひろし (改革連合) 体の不自由な方が安心して歩けるバリアフリーの歩行者空間の整備が必要と考え

①私も大変に期待していた武蔵小金井駅北口周辺再開発整備計画が整備地区範囲について調整がつかず準備組合が解散になったと聞いた。南口と比較して開発整備が遅れている。北口広場の北側は歩道が狭くバス待ちの列で残スペースが狭隘となり、行きかう人の傘などがぶつかり合う状態だ。再開発手法等により歩道の拡幅、広場等の公共スペース設置のためにも市として積極的な力を注いでいくべきではないか。市に相談が来ているのかどうか尋ねる。
都市整備部長 市としては周辺道路が狭く歩行者や

者の不自由な方が安心して歩けるバリアフリーの歩行者空間の整備が必要と考えられている。安全安心なまちづくりを進める必要から地元とも協議を進めている。
②旧中村研一郎が来年3月頃に正式に小金井市内で初の国の登録有形文化財に登録される見通しとの報道がなされている。市政施行60周年であり、町おこしの財として市内外にアピールすべき。
生涯学習部長 旧宅と花侵庵の建築物調査、市文化財保護審議会の答申を経て文化庁に登録申請した。
市民部長 老朽化した茶室を修復し、企画等を開催するなどしたい。

学校に香害ポスター 健康長寿と図書館充実



田頭祐子 (生活者ネット) 県は、図書館数も日本一。本や雑誌を読む人が健康長

①経済課の香害の啓発ポスターがCOCOBASや公共施設に掲示される。市のHPでもすぐに検索できるよう改善を求める。(ア)医療機関や福祉施設、学校や保育園にも情報発信とポスター掲示を。(イ)学校では子どもの実態を調査し、給食着など共有する衣類へは柔軟剤使用へ配慮の呼び掛けを。福祉保健部長 (ア)ポスター掲示と情報提供は検討。
学校教育部長 (イ)給食着への配慮が必要。子どもが健康な学校全体で対応する。毎年の健康調査で化学物質過敏症も実態把握できる。
②健康長寿日本一の山梨

県は、図書館数も日本一。本や雑誌を読む人が健康長寿なら、山梨県に倣い、できる事を取り入れられないか。(ア)市民が読み終えた週刊誌や雑誌を図書館に寄贈し、自由に閲覧できるコーナー設置を。(イ)開館日や夜間時間の延長を。(ウ)児童保育却機の設置を。(エ)学童保育だけのでない、放課後の子ども居場所として図書館や公民館も利用しないか。
生涯学習部長 (ア)読書と健康寿命の関連性は注目。できる事を研究したい。(イ)図書館本館でも拡充を検討。図書効果の高いシステム導入効果の高いシステム検討したい。(エ)子ども居場所として活用されているが、見守りは体制上難しい。

高齢者を狙った詐欺 被害の緊急防止対策を



渡辺ふみ子 (公明党) 加購入を予定している。(イ)これまで消費生活相談室が発行した啓発チラシ等が注

①市内では振り込め詐欺や、キャッシュカードを騙し取る等の高齢者を狙った悪質な犯罪が増加している。被害者の76%が70歳以上であり、男女別では、76%が女性である。(ア)電話による詐欺行為に効果のある自動通話録音機の貸与状況と今後の対策は。(イ)キャッシュカードの利用限度額を低く設定する等のアドバイスや、詐欺の手口を書いたチラシを配布する等、丁寧な対策を。(ウ)防犯カメラの設置場所を計画的に増やすべき。
総務部長 (ア)平成29年10月から平成30年10月までに200台を貸与した。来年度追

加購入を予定している。(イ)これまで消費生活相談室が発行した啓発チラシ等が注意識起してきたが、関係課や関係機関と相談したい。(ウ)市民の理解を得るため、地域団体による設置を推奨したい。
②消費税10%への負担軽減のため、多くの国で導入している軽減税率が導入されるが、準備は整っているか。
市民部長 事業者からの相談等はまだまだないが、消費税率改定や経済対策が決まり次第遅滞なく対応できるように国の動向を注視する。
■その他、市として名勝小金井桜を通じ、都市間交流を進めるよう要望しました。

京王バス減便による COCOBASへの影響



湯沢綾子 (自民党・信賴) 大きな問題となっている運

京王バス(武蔵小金井駅南口)武蔵境駅南口)の減便に関わって議会でも市民からの様々な意見要望が取り上げられているが、今回はCOCOBAS中町循環への影響を伺いたい。平成30年4月から中町循環の乗客数は月平均2千人前後増加しており、特に朝の早い時間帯で大変混雑するようになった。(ア)始発時間を午前9時より早めるかまたは増便することはできないか。(イ)配慮を必要とする方には席を譲っていただけよう放送などで促して欲しい。
都市整備部長 (ア)京王バスの減便は運送業界全体で

大きな問題となっている運転手の人員不足が原因とのこと。市民の皆様が不便を感じられていることは認識している。COCOBAS始発の延長や増便を検討したが、それも運転手の人員不足により困難な状況である。COCOBAS再編事業の中で運行時間や運行間隔等を総合的に考えていきたい。(イ)車内混雑時における座席の譲り合いにご協力いただければ、手法等を検討していく。
■その他、市役所業務における内部統制の欠如と必要性について指摘し、リスクの可視化と継続的にモニタリングを行うシステムの構築を要望しました。

「まちなおし」に向けて の提案(その1)



渡辺大三 (情報公開) の対応をするべきである。JR東日本の土地なので協

ちよつとした工夫で都市景観・利便性を向上させる。「まちなおし」を提案する。(ア)東小金井駅南口ロータリー東側の駐輪場として以前使用していた所の駐輪区画の線がグチャグチャに引かれている。インターロックキング舗装と、適切な緑化を。(イ)同西側のみずほ銀行ATM前の放置駐輪防止柵が非常に無秩序かつ乱雑で都市景観を害している。景観に配慮を。(ウ)中央線高架下の歩道状空地が保育園の所で止まっている。緑中央通りまで延伸してほしい。現状と課題は。
都市整備部長 (ア)何らか

の対応をするべきである。JR東日本の土地なので協議を重ねたい。(イ)ご指摘を歩行者と自動車が増加傾向にある。必要性は認識している。市の費用で設置することについてはJR東日本から一定の理解を得ている。JR東日本と協議を継続する。
途中で切れる高架下歩道

COCOBASの 改善について再び問う



森戸洋子 (日本共産党) 止されようとしているが、

①京王バスのダイヤとルート変更について。(ア)シルバークの利用、東町循環と中町循環の乗り継ぎ券の発行、乗り継ぎの待ち時間の短縮について問う。(イ)東町一丁目、五丁目のバスの運行の要請が市民から提出されている。対応について問う。
都市整備部長 (ア)全体のサービスに関する長期的な検討をコミュニケーション再編事業の中で行いたい。(イ)バス会社と協議し、4月をめぐりに23分間を8分間に短縮することで連結性を高めることを進めている。
②リサイクル事業所が廃

止されようとしているが、存続を求める。リサイクル事業所の廃止は、ごみの減量や広域支援をお願いし、非常事態宣言を発していることと逆行する。(ア)リサイクル事業所を存続すべきではないか。(イ)粗大ごみ、放置自転車リサイクル事業など、担当課はシルバークセンターと協議しないか。
環境部長 (ア)シルバークセンターと話し合いをしたが、延伸することにはならなかった。
福祉保健部長 (ア)にわかには、ここでも実施するといふことにはならない。
都市整備部長 (イ)今後シルバークセンターと意見交換等をしていきたい。